

ストップ
戦争法案

平和・くらしまでも市政に

51億5000万円（財政調整基金）

ためこみすぎと批判の多い水戸市が100億円、人口水戸市の5分の1に満たない鉾田市の51億円余は異常です。又、その他の基金も含め基金総額は155億円にもなります。

4年前の選挙で獲得した複数議席を維持し、議案提案権のフル活用で、さらなる市政改革に取り組んでいきます。

**安倍暴走政治「ノー」の声
鉾田から発信します**

- 海外で戦争する国づくり「戦争法案」反対
- 消費税10%、年金削減中止を
- 東海第2原発再稼働ストップ、廃炉に
- TPP反対、農業、食の安全を

※自民党元幹事長も安保健法は「暴挙」とし「自衛隊を海外に出し、活動範囲を広げたら必ず戦死者が出る。大きな過ちを犯そうとしている」野中広務氏

基金（ためこみ金）を市民のくらし応援に

○国保税1世帯1万円引き下げ

必要な財源は年間1億2000万円弱、ため込み金（財政調整基金）51億円の2.3%で実現できます。

○介護保険減免制度の充実

○高校卒業までの医療費無料化の拡大

（年間1750万円で実現できます）

○生活道路の整備予算を2倍に

（市単独事業2億7500万円↓5億5000万円）

○産科の誘致

出産・安心子育て支援のため市の重点課題として促進。

○小学校統廃合計画（20校を4校）の見直し、再検討

○乗合自動車運行区域拡大

○住宅・店舗リフォーム助成制度創設で地元業者の仕事拡大

○特別養護老人ホームの待機者解消

○仮称・市民交流館は市財政に圧迫を招かぬよう、

また市民の使い勝手の良い施設を

くらしの願いとどけ

日本共産党

もっと若い人の意見聞いて。
不安でいっぱいです。

共産党鉾田市議団が実施した、市民アンケートに寄せられた 30 代のお母さんの切実な声を紹介します。

北小(鉾田北小)に行きます。(中略)うちは母子家庭で3人子どもがいる。すごく苦しい。そういうことも考えて欲しい。

私はもらえる見込みのない年金を払い、税金も払い、選挙にも行き、父母のめんどうも見て必死で生きているつもりです。もっとムダをはぶき、(スクール)バスの費用に充てることができませんか。案の金額高すぎです。無料にしてください。統合するのに勝手に決められ、お金を払えって、おかしいですよ。ちゃんと使うべきところ、かえるべきところにお金と頭を使ってください。

あなたたちを今後支えるのは子どもたちですよ！(中略)誰も鉾田に残らなくなります。子育てしにくいですから。今のままでは。

若い人は、どこで意見を述べたらいいのですか！接点がないですよ？もっと若い人の意見を聞いてください。不安でいっぱいですよ！



市議会議員高野まもる

市議会議員石津たけよし

原発・大震災からの復旧

- 東海第2原発再稼働ストップ 求める議会請願の紹介議員に 幅広い市民が「鉾田市原発なくす会」を立ち上げ、東海第2原発再稼働反対、廃炉を求めて宣伝・署名運動を。市内主要スーパー店舗前での署名活動などで2500筆近い署名を集め市議会に請願。共産党議員団と他会派2人が紹介議員になり趣旨採択。
- 議会一般質問で再稼働への市長の政治姿勢を質し、「避難計画ができなければ再稼働は難しいのではないか」との答弁を引き出す。
- 議案提案権を使い、震災被災住宅修繕工事費市独自助成費引き上げ(5万円→10万円)支給条例案を提案(賛成少数で否決)。
- 被災住宅の瓦礫搬入期間半年間延長になる。
- 放射能測定局(モニタリングポスト)追加設置実現(大洋運動場、県鉾田合同庁舎敷地)。
- 防災無線戸別受信機設置(希望全世帯)。

がんばってきました

子育て・教育、農業、くらし

中学卒業まで医療費無料化実現

● 市民要望の強かった中学卒業までの医療費無料化、議会質問でもたびたび実現を迫り、昨年度から実施になりました。ひき続き高校卒業までの無料化に取り組みます。

● 少人数学級、小規模校こそ望ましい。小学校は地域コミュニティの要と、毎議会のように質問し、一貫して小学校統廃合計画の見直し、再検討を求めてきました。

TPP反対。米価下落で意見書

● TPP交渉参加反対で意見書、共産党議員団提案(可決)。

● 平成26年産米価大幅下落に、緊急対策を求める意見書提出(他会派議員と共同提出、可決)。

● 飼料用米等への新規需要米作付けに市独自の補助実現。

● 消費税10%増税中止、共産党鉾田市議団が議案提案権で意見書案提案。他会派議員の反対で否決。



民報ほこた

2015年 6月号外

鉾田市議選の予定候補者と政策を発表します。

- 発行：日本共産党鉾田市委員会
- 連絡先：石津たけよし 電話 39-2809
高野まもる 電話 36-2376